西東京市市民協働推進センター

第3回市民シンポジウム報告書

（平成 23 年 7 月 2 日開催）

平成 23 年 8 月 1 日作成

項　目

１．　チラシ

２．　開催概要

３．　パネリスト発言要旨

４．　団体発言要旨

５．　写真

ゆめこらぼ主催　第3回市民シンポジウム

子どもたちの
笑顔あふれる
元気なまちづくり！！

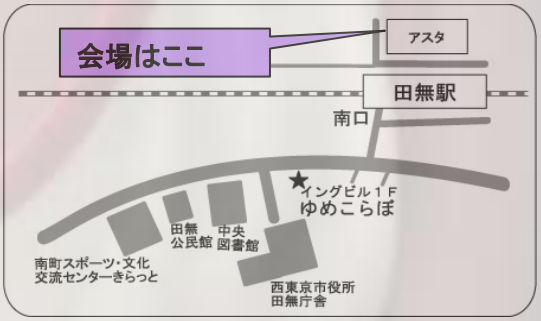
７月２日（土）１３：００～１６：３０

アスタ２F センターコート（西武新宿線田無駅北口）

第１部　基調講演「４カ国調査から考える現代の子どもたち」
蜂須賀勲さん（西東京市教育委員会指導主事）

第２部　パネルディスカッション
・パネリスト　田中のり子さん（西東京子育てコム）
小松真弓さん（子どもアミーゴ西東京）
小嶋弘さん（稲門寺子屋西東京）
松香成紀さん（ばんびの会）
・コメンテーター　蜂須賀勲さん

会場には展示パネルコーナーもあります



****

■問い合わせ先

・西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ
電話 042-497-6950　FAX 042-497-6951　（火曜休み）
メール　yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp
http://www.yumecollabo.jp/

・西東京市協働コミュニティ課　電話 042-438-4046

****

２０１１・０６・１２

「第３回市民シンポジウム」開催概要

１　市民シンポジウム

（１）名　称：　「第３回市民シンポジウム」
　　＝子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり＝

（２）日　時：　平成 23 年 7 月 2 日（土）13 時～16 時 30 分

（３）場　所：　アスタ２階のセンターコート

（４）趣　旨：　前年度は「環境に配慮したまちづくり」をテーマに市民シンポジウムを開催しましたが、今年度は「子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり」という明るいテーマで市民シンポジウムを開催し、元気で活力のある西東京の 「まちづくり」をみなさまとともに考えます。

2　プログラム概要

（１）全体構成

・開会挨拶　13 時 00 分

①　基調講演（30 分）　13 時 05 分～13 時 35 分

・蜂須賀　勲さん（教育委員会指導主事）

演題　『4 カ国調査から考える現代の子どもたち』

②　パネルディスカッション　13 時 40 分～15 時 00 分

パネリストは、活動分野や子どもの年代層などを勘案し次の４団体とする。

・田中のり子さん（西東京子育てコム）
・小松真弓さん　（ＮＰＯ子どもアミーゴ西東京）
・小嶋弘さん　　（ＮＰＯ稲門寺子屋西東京）
・　松香成紀さん　（ばんびの会）
・　蜂須賀勲さん　（コメンテーターとして）

③　その他の団体による活動発表　15 時 00 分～16 時 30 分

・「西東京市子どもの権利に関する条例」の実現をすすめる会
・西東京菜の花エコ・プロジェクト
・Mamma Mia ！＋
・『でこぼこ』
・オンリーワンクルー
・子どもげきじょう西東京
・ワーキングマザーサロン西東京
・エムズパワー＆ケイズパワー

（各団体持ち時間は 10 分間）

・閉会挨拶

（２）その他

・会場には展示パネルコーナーを設けます。
　サイズ　縦 180 ㎝、横 120 ㎝
・パネル展示のみの参加も可能です。
　学び塾『猫の足あと』
・パワーポイントは使用できます。
　ＰＣは、各自持参のこと。
・リ－フレット・ちらしなど展示・配布用長机あり

以上

ゆめこらぼ宛

団体名　西東京子育てコム

氏　名　　田中　のり子

第3回市民シンポジウム
子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり

パネリスト発言要旨

（一巡目・10分間厳守）

テーマ	要　旨
「西東京子育てコム紹介」(2分)	なりたち、目的など
「子どもの笑顔は母親から」（6分）	・最近、子育て支援が市内でも活発である。 ・その主なものは、「児童福祉」の立場からのものであることが多い。 ・母親は、子どもが何かをしたときに他人に「しつけがなっていない」「親は何をしている」と言われるのを気にして叱っていることもある。 ・または、他人に色々言われることに敏感（過敏）に反応する。 ・子どもが笑顔になるには、まずは母親が癒されて（認められて）いなくてはならない。
「地域全体で子育てを」（2分）	・社会全体が、「子育ては親の責任」もっと言えば母親の責任という風潮である。 ・特に、子どもが事件を起こしたときにマスコミが報道する姿勢。 ・もっと、温かい目で母親を見守っていけないものだろうか。

追加したいコメント

（二巡目・5分間厳守）

テーマ	要　旨
「母親からはじめるまちづくり」	子どもが住みやすい街は、誰にでも住みやすい街に違いない。 住みやすい街づくりというと、ハード面に目がいきがちだが ソフト面からの街づくりについて、母親が声を上げていくことが必要

以上

ゆめこらぼ宛

名　NPO法人子どもアミーゴ西東京

氏　名　　小松　まゆみ

第3回市民シンポジウム
子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり

パネリスト発言要旨

（一巡目・10分間厳守）

テーマ	要　旨
アミーゴの 成り立ちと紹介 （２分）	アミーゴの簡単な成り立ち説明 行政との協働で運営している学童クラブの説明
子どもの居場所 （6分）	学童運営から見えてくる、卒所した後の学童っこの居場所とは？ 地域で子育てする～みんなの居場所 どうせタムロするなら、コンビニの前じゃなくてアミーゴに居て 小学生でも中学生や高校生になっても、一緒にとことん遊ぼ！
児童センターの 果たす役割と 未来への展望 （1分半）	地域で支え合おう！児童センターは０歳児から18歳まで利用可能 お世話になった子どもたちが大人になり、こんどは自分たちが地域の子 そだてをサポートするオトナになる、循環型の居場所

追加したいコメント

（二巡目・5分間厳守）

テーマ	要　旨
児童センターのオープニングセレモニー開催のお知らせ	西東京市が児童センターを作る時から、関わってくれた中高生のグループがアミーゴ運営に委託されてからも、積極的に現在も参画している。そんな彼ら彼女らが中心に企画した「オープニングセレモニー」が実施されます。ぜひ、地域の皆さん来て下さい。

以上

ゆめこらぼ宛

団体名　稲門寺子屋西東京

氏　名　　小嶋　弘

第3回市民シンポジウム
子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり

パネリスト発言要旨

（一巡目・10分間厳守）

テーマ	要　旨
子どもの健全育成	・教育の現状（塾の全盛） ・経済格差と教育格差 ・勉強するキッカケづくり、習慣づくり ・学ぶ喜び ・寺子屋の授業内容

追加したいコメント

（二巡目・5分間厳守）

テーマ	要　旨
今後の寺子屋	・心のふれあい ・開かれた教育（保護者との交流） ・他地区への情報発信　他

以上

ゆめこらぼ宛

団体名　心身障害児（者）デイサービスグループ　ばんびの会

氏　名　松香　成紀

第3回市民シンポジウム
子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり

パネリスト発言要旨

（一巡目・10分間厳守）

テーマ	要　旨
ばんびの会で取り組んでいること	・できる喜び、楽しみを感じてもらう ・否定しないこと ・ボランティアさんと関わる（人とつながり、関わる）

追加したいコメント

（二巡目・5分間厳守）

テーマ	要　旨
「まちづくり」の第一歩	・つながること、関わること ・ばんびの会として

以上

ゆめこらぼ宛

団体名：「西東京市子どもの権利に関する条例」の実現をするめる会

氏　名：古谷高子

第3回市民シンポジウム
子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり

活動アピール発言要旨

（10分間厳守）

テーマ	要　旨
子どもの権利って なんだろう	「すべての子どもたちは、愛され、教育をうけ、その命を守られなければならない」というあたりまえのこと。 「子どもたちが幸福に暮らす」という当然のことが守られていない現状が、今、フクシマにある。
	安全な食べ物がなく、安心できる空気がなく不安をかかえる毎日。では一方、西東京市ではどうだろうか？残念ながら、いじめで苦しんでいる子どもたちや、支援が必要な子たちがいる。
	そして子どもを育てている市民や、子どもに関わる職員や教員が一緒になって「子どもの権利」ということを深めていけたらば！と思います。

貴団体を司会が紹介するためのコメント（100字以内）

発表者名	古谷高子
コメント	西東京市の「子育ち、子育てワイワイプラン」にそってすすめられている「子どもの権利条例」策定の動きを市民の立場で応援している会です

ゆめこらぼ宛

団体名　西東京 菜の花エコ・プロジェクト

氏　名　　茂木　千佳子

第3回市民シンポジウム
子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり

活動アピール発言要旨

（10分間厳守）

テーマ	要　旨
菜の花は、地球環境を守る新エネルギー！	菜の花やひまわり等の油糧作物がディーゼル車の燃料になる。BDF(バイオディーゼル燃料）という。実際にヨーロッパのＥＵ諸国のドイツ、フランス、イギリスなどでは食料自給率とあわせた環境政策として１９７０年代より菜の花やひまわりを栽培し、二酸化炭素を増やさないガソリンの代替燃料として実用化され税金も優遇されています。日本は１９７０年代にバイオ燃料ではなく原子力発電所の建設を進めましたが、今回の東日本大震災による福島第１原子力発電所の事故は、目先の利益が人類の未来に及ぼす計り知れない原子力利用のリスクを露呈しました。
西東京 菜の花エコ・プロジェクトの活動から見えてくること	西東京市で菜の花、ひまわりを栽培してから８年目。咲き誇る菜の花やひまわりは、通る人たちのこぼれ出る笑顔で毎年迎えられています。収穫した種は搾油後、作物による資源循環型まちづくりの環境学習としてろうそくや石けん作りに利用し、二酸化炭素を増やさない車の燃料ＢＤＦとして自然に戻る仕組みを説明しています。小学校の総合学習では、東大農場で自分たちが栽培したひまわりの種を唐箕機で選別したり、食べたり、搾油をしたり、油の歴史や資源循環の学習をしたりと、子どもたちは興味津々です。また、夏休み企画のろうそく作りは今年で３回目を迎えますが、６０名を超える参加者でやはり資源循環の学習も行います。やはり環境問題は具体性を持たないと伝わらないと思います。
輝く子どもたちの顔に未来をのせて！	エネルギーの多様性と環境保全の将来ビジョンをこの子どもたちが更に作り上げてくれることを期待しながら大人の責任の一端を担えることの喜びを感じます。子どもたちの学校給食で出た廃食油が、車の燃料になり環境対策にもなることが実体験出来るとなお説得力が増すと思います。子どもたちが持続可能な環境に向け、未来への科学者として誕生してくれることを願ってやみません。

（政策提言などもご記入いただいて結構です）

貴団体を司会が紹介するためのコメント（100字以内）

発表者名	茂木（モテギ）　千佳子（チカコ）
コメント	私たちは簡単便利な生活と引き換えに環境への十分な検証を怠ってきました。地球環境と私たちの未来を持続可能にするための再生可能なエネルギーを「環境と食」を視点に、子ども目線で考えています。

ゆめこらぼ宛

団体名　　Mamma Mia+

氏　名　　宇野 愛子

第3回市民シンポジウム
子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり

活動アピール発言要旨

（10分間厳守）

テーマ	要　旨
団体紹介	3年前にお母さん達の子連れフラダンス・ゴスペル・ヨガのサークルから始まりました。現在はそれだけに留まらず、市との協働事業のプレーパーク、子育てサロン、母のきもちの語り場などを運営しています。スタッフはすべて市内の現役子育てママ。年齢・性別・参加資格・条件など一切ないマンマミーアの略称「まんま」というキーワードですべてのひとが自分の“そのまんま”でゆるくつながりあえる・成長しあえる「コミュニティー」です。
子どもたちの笑顔があふれるには？	「子どもたちの笑顔があふれる街」それは単体では成り立ちません。私達は大切なことを忘れていないでしょうか。街には子ども以外にも私達大人が存在しているのです。その大人が疲れた顔、退屈そうな顔をしていたら…子どもは無意識のうちに「大人ってつまんなそう」そんなメッセージを受け取っています。「子どもを笑顔に！」という大人は笑っていますか？私達大人自身が「楽しい」を感じる時ってどんな時だっけ？子どもと一緒に笑う時って何やってるっけ？そんな自分自身を思う存分感じてみて欲しいのです。子どもの頃に得意だった遊びを披露してください。子どもと一緒に笑うことから始めませんか♪大人も子供も能動的で創造的な心と体をつくる「主体的に生きる力」を養いましょう！
そのために「まんま」がやっていること！	市との協働事業で老若男女みんな遊びまくる「西東京プレーパーク★キャラバン」では、5mにもなる大きな布でのぼりを作りました。大人も子どももペンキを塗ってみんなで手形・足型・顔型（？）を付けました。みんなで同じ楽しみを共有する、大人も童心（まんまの自分）に還るその時…みんなの笑顔がはじけまくります。子育てサロン「木育ホッとカフェ」では天然の木のおもちゃを親子で触れ合いながら美味しいお菓子ともにほっこりゆるんでいってもらっています。「きもちのかい」妻という役割、母という役割からちょっと離れて「私」という自分自身の話をする場所です。自分自身を感じ直すことで自分軸を建て直し、様々な役割の自分も楽しめるようになるのです。良い母より笑ってる母に♪まずは自分を感じることから！

（政策提言などもご記入いただいて結構です）

貴団体を司会が紹介するためのコメント（100字以内）

発表者名	
コメント	この団体のテーマは「感じる子育て！」自分自身の「そのまんま」を感じながら、子育て世代はもちろん、そうでない世代にもたくさん関わっていただきながら、子どもも大人も全世代の人達に人生を思いっきり謳歌して欲しい！そんな願いで活動しています。

ゆめこらぼ宛

団体名　でこぼこ

氏　名　　池谷えつか

第3回市民シンポジウム
子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり

活動アピール発言要旨

（10分間厳守）

テーマ	要　旨
子どもの不適応には、理由があります。	皆さんの子どもさんは、学校で困っていませんか？ どうしても出来ない、身に付かない事はありませんか？ 周りとのコミュニケーションがうまくいかない事はありませんか？ 不適応をおこす理由を知り、正しい対応と支援があれば、親も子ももっとストレスを減らす事が出来ます。 一人ではない事を知って欲しい。 情報を共有し、学び合い、共に助け合いましょう。

（政策提言などもご記入いただいて結構です）

貴団体を司会が紹介するためのコメント（100字以内）

発表者名	いけやえつか
コメント	発達に何らかの偏りや難しさを感じている保護者の方と、その家族。 相互支援しあう為に、でこぼこを作りました。どうしたらいいのか悩み、 不安を抱え込んでいるお母さんお父さん。一人ではないですよ。 一緒に考え、ともに支え合いましょう(^o^)

ゆめこらぼ宛

団体名オンリーワンクルー

氏　名　鈴木剛

第3回市民シンポジウム
子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり

活動アピール発言要旨

（10分間厳守）

テーマ	要　旨
みんなの居場所	約8年前から西東京市で若者などの居場所を運営してきました。 活動を続けてきた中で、ひきこもりなどの若者に限らず、他の年代の方にも参加いただくようになりました。
ニートの予防的活動	いまは若者の居場所ですが、将来的には、子どもたちが不登校などになったり、ニート、ひきこもりなどにならないような予防的な活動もできればと思っています。 若者が地域において、地域活動や市民活動のお手伝いができる機会の創出の可能性について。
ワンクル参加者からのコメント	ワンクルに参加している青年に登場してもらい、居場所の必要性などを語ってもらおうかと思います。 （まだ参加できるか確約はできません。あくまで予定です）

貴団体を司会が紹介するためのコメント（100字以内）

発表者名	鈴木剛
コメント	きっかけは「ここにある」を合言葉に、ひきこもり、ニート、いじめ等を経験した人や、そういった経験はなくても人づきあいが苦手で生きづらさを感じる人たちが、人間関係の練習ができる場所を目指して2003年に西東京市で発足。

ゆめこらぼ宛

団体名　子どもげきじょう西東京

氏　名　　小田桐　孝子

第3回市民シンポジウム
子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり

活動アピール発言要旨

（10分間厳守）

テーマ	要　旨
子どもげきじょうって何？	特定の思想・宗教・政党にかかわることのない非営利の子育て団体です。子どものためのすぐれた舞台芸術を親子で楽しむことによって、豊かな大人になってほしいという願いで作られました。さらに、地域の中で親子で遊ぶことを大切にしています。会員は自分たちで情報を集め、企画し、プロの芸術家、劇団と交渉し年間の計画を立てます。同時に会員が、子どもたちとともに自主的に企画して身近な地域で集い、遊び、いきいきとした体験の場づくりと仲間を作ることを大切にしています。
会の成り立ち	「子どもげきじょう」「おやこ劇場」は1966年、福岡の青年や母親たちがはじめたものです。現在、全国各地の子ども劇場が、それぞれの地域に根差した活動を行っています。１９８８年『保谷子ども劇場』として『清瀬子ども劇場』から独立。保谷市と田無市の合併後、西東京市の子どもたち全体を視野に入れた活動を目指して『子どもげきじょう西東京』と改称し、現在に至ります。
これからの夢、希望、メッセージなど	子どもの豊かな心と感性をはぐくむために、生の舞台鑑賞による感動体験と、異年齢の子ども同士の交流体験が欠かせないと考えてます。　子どもと同じ舞台を観ると、わかっているつもりだったその子の、意外な面に気づかされます。○○ちゃんが実はロマンチストとか、わが子も案外ちゃんとものを考えているとか…。人は生きるに足るというメッセージを、直に心に届けてくれる生の舞台体験をぜひ生活に位置づけて下さい。なかよしグループで、また、お一人での入会も歓迎します。

貴団体を司会が紹介するためのコメント（100字以内）

発表者名	権藤　　成
コメント	優れた舞台芸術の鑑賞と異年齢での遊びを通して、子どもの豊かな成長を応援する会員制の会です。（４才から入会可。）年４回程度の鑑賞例会と様々な遊び等の交流の場を設け、親子共に世代を越えたつながり作りを愉しんでいます。（発表者は創立当時から23年間、会員で、初代事務局長）

ゆめこらぼ宛

団体名　ワーキングマザーサロン西東京

氏　名　太田 智子

第3回市民シンポジウム
子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり

活動アピール発言要旨

（10分間厳守）

テーマ	要　旨
NECワーキングマザーサロン@西東京について	6月から11月まで、市内各地で「NECワーキングマザーサロン」が開催されます。 「母となってはたらく」をテーマとした座談会。公園や児童館での「ママ友トーク」ではできない、自分を主語とした話を思う存分できる場です。最初はゲームのようなコミュニケーションワークからはじめるので、リラックスして、初対面同士でも深い話ができます。
NECワーキングマザーサロンの特徴	(1)今「ワーキング」や「マザー」でない人も、このテーマに興味がある女性ならどなたでも参加可能。 (2)主催はNPO法人、協賛はNECの社会貢献室ですが、サロンの運営・司会進行は「自分の地元でこのサロンを開催したい！」と手を挙げた一般市民がグループを結成して行います。西東京市では市内在住の1児の母6名で開催運営をしています。 (3)生後210日以内の赤ちゃんは同伴可能。車座になった中央にマットを敷き、赤ちゃんを寝かせ、見守りながらサロンを進めます。生後211日以降の赤ちゃんは信頼できる方に預けて単身でご参加ください。
今後の開催日程と申し込み方法	11月まで月2回のペースで開催予定。1回ごとの申し込み。1回でも何回でも参加いただけます。参加費は1回500円で、テキスト「マドレ式ワーキングマザーの教科書」（定価800円）をお渡しします。 7月9日（土）谷戸公民館 和室 10～12時 7月24日（日）パスレル保谷 2階イベントスペース 10～12時 8月6日（土） 田無公民館 集会室 10～12時 8月26日（木） 谷戸公民館 和室 10～12時 9月以降の日程は決定次第下記ホームページで発表 事前にお申し込みが必要です。下記ホームページからお願いします。 「マドレボニータ」で検索→ http://www.madrebonita.com

貴団体を司会が紹介するためのコメント（100字以内）

発表者名	代表 太田 智子（おおた ともこ）
コメント	「NECワーキングマザーサロン」を西東京市内で開催するために、地域の母親たちで結成したグループです。このサロンは「母となってはたらく」をテーマとした座談会で、代表の太田が当日の司会進行もつとめます。

ゆめこらぼ宛

団体名　K's POWER

氏　名　三木　美奈子

第3回市民シンポジウム
子どもたちの笑顔あふれる元気なまちづくり

活動アピール発言要旨

（10分間厳守）

テーマ	要　旨
子供たちの笑顔・元気・勇気！	ダンス実技発表

貴団体を司会が紹介するためのコメント（100字以内）

	鈴木　理恵
コメント	西東京市で活動しているダンスサークル “ケイズ･パワー”です 地域のお祭りやイベントやボランティア活動を通して子供たちの心身の成長やチームワークをだけでなく、地域の皆様にも　ダンスステージを通して子供たちの笑顔･元気･パワーで勇気が湧いてくるような活性化が出来ればと思い営利目的なしの活動をしております。 本日はこどもたちの笑顔･元気･勇気を感じていただけるようなダンス発表をします。

会場全体

基調講演：蜂須賀　勲さん

パネリスト